

平成 29 年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（10 月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

1 目的

大阪エコ農産物の安全・安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

2 分析期間

平成29年10月16日～10月23日

3 分析農薬の種類 50 農薬

4 検査機関

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

5 分析結果

3 種類の作物について、計10検体調査を行いました。  
食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表 分析結果

作物の種類	エコ栽培基準 (農薬上限使用延成分回数)	分析検体数	分析結果				
			農薬が検出された検体数	検出された農薬の成分名	残留濃度 (ppm)	残留基準値 (ppm)	
水稲	7	5	0	—	—	—	
温州みかん	10	2	1(*1)	ジノテフラン	0.13	2	
しゅんぎく (施設栽培)	3	3	3	検体a (*1)	ジノテフラン	0.16	20
				検体b (*1)	ジノテフラン	0.13	
				検体c (*1)	アゾキシストロビン	0.05	30
					フルフェノクスロン	0.08	10

\*1 農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。  
温州みかんで検出されたジノテフラン、しゅんぎくで検出されたジノテフラン、アゾキシストロビン及びフルフェノクスロンは、それぞれの作物に登録があり、残留基準値を下回っているため食品としても問題はありません。